

練習問題(8)

1. (多岐選択式)猿払事件の説明として正しいものを選んでください。

- A) 名誉毀損に当たる出版物の出版の事前差し止めを争点とした事件である
- B) 700メートル以上という小売市場制限につき、その合憲性を争点とした事件である
- C) 郵便局職員が選挙ポスターを公営掲示板に掲示した行為が、公務員の政治的行為に当たるか否かが争点となった事件である
- D) 社会保険事務所職員が政党機関紙を郵便受けに配布した行為が、公務員の政治的行為に当たるか否かが争点となった事件である

解説 正解は C)。他の選択肢は猿払事件の説明ではない

2. (多岐選択式)堀越事件の説明として正しくないものを選んでください。

- A) 公務員の政治的中立性が争点となった事件である。
- B) 最高裁は、被告人は管理職的地位にあったわけではないのでそもそも罰則の構成要件には該当しないと判断した。
- C) 高裁判決では、本罰則規定を適用することが憲法違反であると判断した。
- D) 最高裁判決では猿払事件の最高裁判決が援用された。

解説 正解は D)。猿払事件の最高裁判決は援用されていない。

3. (空所補充・短答) 経済活動の自由に比べて、精神的自由(表現の自由)をより手厚く保護すべきという考え方を何というか?

解説 正解は「二重の基準論」

4. (空所補充・短答) 政府にはその活動等を国民に広く説明する責務があるという考え方を何というか?

解説 正解は「アカウンタビリティ」

5. (正誤問題)以下の命題の正誤を判断し、その理由を述べてください。

検閲とは、思想内容等の表現物を対象とし、発表前および発表後においてその内容を審査し、その発表を禁止することをいう。

解説 誤答。検閲とは発表前の検査、および発表の禁止をいう(発表後は含まれない)。